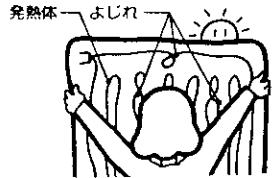
安全にお使いいただくための点検

つぎのような場合には、お使いになるのをやめ、お買い求めの販売店に点検を依頼してください。

使用前につぎの異常があったとき

- コードの損傷。(被覆のすりきれ、ひび割れ)
- コントローラーの破損。
- 敷毛布本体のすりきれによる発熱体の露出。
- 発熱体のよじれや折れぐせ。
  (広げて光に透かしてみるとわかります。)

使用中につぎのような状態になったとき

- 差込プラグやコネクター部が異常に熱いとき。
- 「低」目盛でも敷毛布本体が異常に熱いとき。
- コントローラーやコネクター部から異常音が発生したとき。
- コントローラーに水をかけたり、高い所から落したとき。
- 暖まったり、暖まらなかったりしたとき。
- 取扱説明書どおりに使用されても、ご不審の点があるとき。

愛情点検

ご使用上支障がなくても安全のため、お買い求めより2～3年ごとに点検を依頼してください。(特に温泉地域など腐食のおこりやすいところで使用されているもの。)費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

故障したと思われるとき

電子コントロール敷毛布の修理には、特殊な技術を必要としますので、ご自分での修理は絶対におやめください。

故障した敷毛布本体とコントローラーの両方をお持ちのうえ、お買い求めの販売店にご相談ください。

故障した敷毛布本体と、他の正常な電気敷毛布のコントローラーを絶対に接続しないでください。接続しますと、正常なコントローラーも故障して使用できなくなります。

アフターサービスと保証

■使用中に異常が生じたときは

直ちに差込プラグを抜いて使用を中止し、お買い求めの販売店にご相談ください。

■転居される場合は

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は

お買い求めの販売店か、別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

■保証について

- この商品は保証書付きです。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い求めの日から1年間です。
  なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

電気敷毛布の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。

- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

新商品情報・商品選択など、家電品のお買物相談を承る窓口
0120-312111
お買物相談センター

株式会社 日立家電　株式会社 日立ホームテック
〒105 東京都港区西新橋2丁目15番12号　電話(03)3502-2111

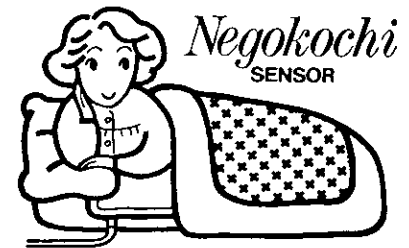
844114 09D(I-P

取扱説明書　HITACHI

日立 電子コントロール 敷毛布
YB-U80S形

(この商品は、ピンク(P)とグレー(H)の2枚セットです。(セット形名YB-U80GT))

このたびは日立電子コントロール敷毛布をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになったあとは保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

目 次

ヒーターが入ったまま手洗い(押し洗い)ができます。

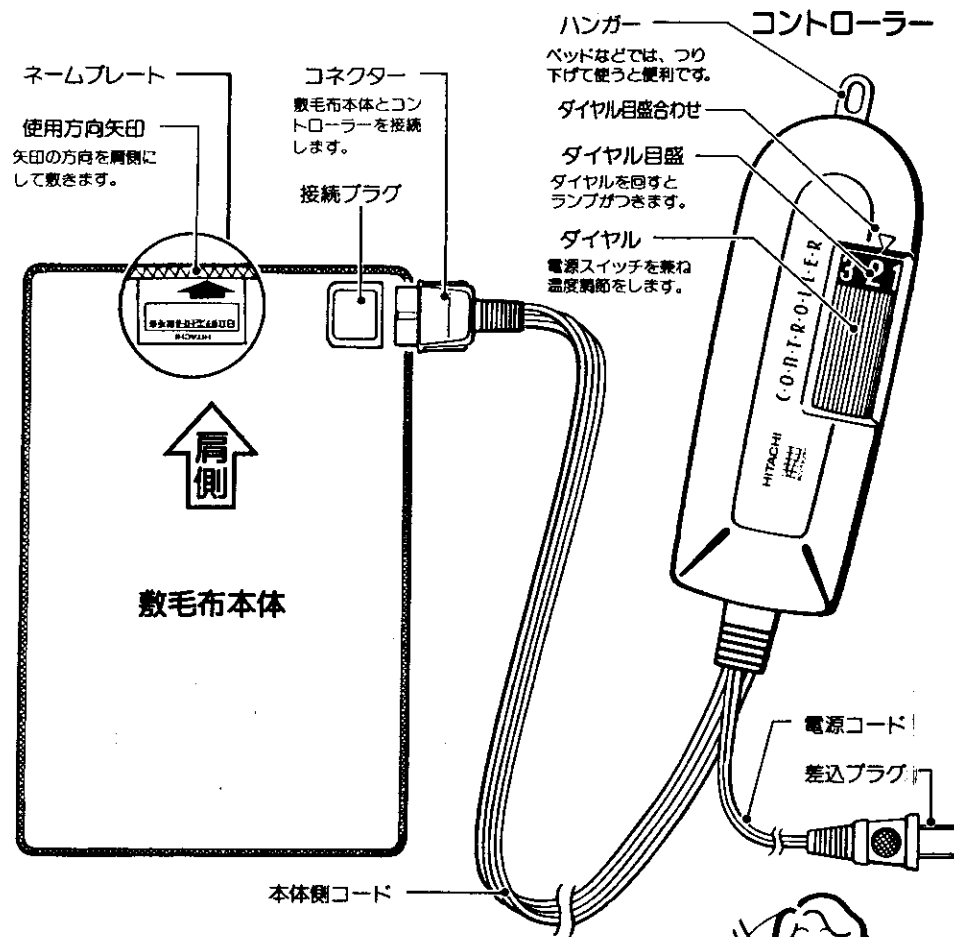
室温が変化しても、敷毛布の温度をお好みの設定温度に保つように自動調整します。

仕様・性能

定格	交流100V(50/60Hz共用) 最大100W(初期) 最小20W(安定時)
コード	電源コード(ビニール)1.9m　本体側コード(ビニール)0.7m
敷毛布地材質	ポリエステル 100%
敷毛布寸法	たて 約140cm　よこ 約85cm
製品重量	約0.8kg(敷毛布本体重量は約0.5kg)
専用コントローラー形名： RYBU6S	

ダイヤル目盛	「高」	「3」
表面温度	約55°C	約45°C
1時間あたりの消費電力量	約42ワット時	約30ワット時

※表面温度は室温20°Cで電気用品取締法に基づく測定値。
※消費電力量は室温10°Cで、厚さ約5cmの掛布団、厚さ約10cmの敷布団を使用し、人が入らない状態で8時間通電した場合の平均値。

各部のなまえとはたらき

電気敷毛布の適温について

電気敷毛布は、からだの周囲にほんのりと暖かい空気層をつくり、からだをつつみ、ここちよい睡眠ができるようにした暖房器具です。

- 睡眠中の快適なからだの回りの空気温度は、普通31～33℃といわれています。
  おやすみのときは、寒くない程度（体温よりやや低くちょっとさわっても暖かさを感じない）の目盛でお使いいただきますと、快適な睡眠が得られます。

上手な使いかた

◉予熱をします

おやすみになる前に「高」目盛で暖めてください。ふとんの中がほんのりと暖かくなり、ここちよくおやすみになれます。

◉おやすみのときは低めの目盛にします

寒くない程度の温度でお使いになりますと、快適に睡眠でき、電気の節約にもなります。

◉ふとんは保温のよいものを

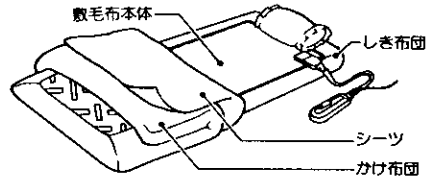
かわいた厚手の大きめのふとんをお使いください。保温性がよく、電気の節約にもなります。

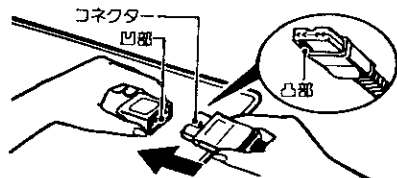
正しい使いかた

1 ご使用の前に

1 敷毛布本体を敷きます

①敷毛布本体の矢印方向を肩側にして、しき布団の上にひろげてください。
- 敷毛布本体には表裏はありませんので、コンセントに近い方に接続プラグをもってきてください。

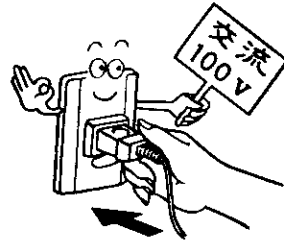
②お手持ちのシーツをかけてください。
③ふだんお使いのかけ布団をかけてください。

2 コントローラーを接続します

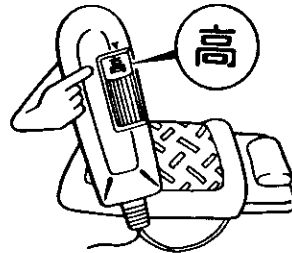
接続プラグの凹部にコネクターの凸部を合わせて、根元まで確実に差し込んでください。

- コントローラーは、必ず専用のものをお使いください。

コントローラーの置きかた
- 敷毛布本体の外に置いてください。
- 他の熱源から離してください。
- 踏みつけたり、落ちやすいところには置かないでください。

2 予熱をします

1 差込プラグをコンセントに差し込みます

正しく配線された、100Vのコンセントに、根元までしっかりと差し込んでください。

2 予熱をします

①ダイヤル目盛を「高」に合わせてください。
②おやすみになる40分～1時間位前に通電してください。

※寒冷地や冷えこみの強いときは1時間以上必要です。

3 おやすみになるときは

1 敷毛布本体をからだの下に敷いてください

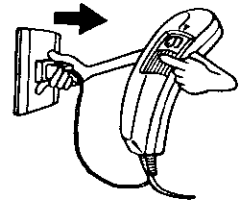
- からだの上にかけて使いますと正しい性能が得られません。

2 寒くない程度までダイヤル目盛をさげてください

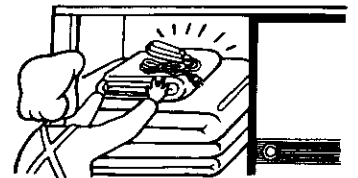
- 快適におやすみになれる温度は、寝具やねまきの状態、体質など個人差によっても異なりますが、普通ダイヤル目盛「1～3」が適温です。
（ダイヤル目盛「高」は予熱のためのものです。）

4 使い終りましたら

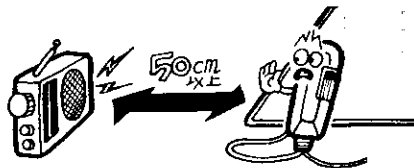
1 ダイヤル目盛を「切」にして差込プラグを抜いてください

差込プラグを持ってコンセントから抜いてください。

2 おしまいになるときは

コネクターをはずし、敷毛布本体を軽くたたんでふとんなどの一番上にのせてください。

ご使用中にしわになることがあります。
敷毛布本体を広げなおしてください。
- ご使用の前に
- 昼夜連続して使用されるとき（1日1回）
- ベッドでお使いのとき

※敷毛布本体を丸めたり、折り込んだまま使用しますと、折り重なった部分が高温になり、敷毛布地が変色したり、故障の原因となります。

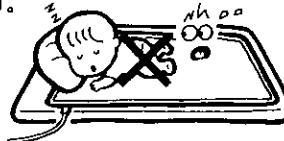
知っておいていただきたいこと

- 敷毛布本体を洗たくしたときや、シーズン始めまたは初めてお使いの場合、温度の上がり方が低いことがあります。
一般の寝具と同じように敷毛布本体が湿気を含んでいるためです。このようなときはダイヤル目盛を高めにして一晩通電乾燥してからお使いいただきますと、湿気がなくなり温度が上がります。
- 室温が高いとき、低目盛では通電せず暖まらないことがあります。
- 受信地域によってはラジオに雑音が入ることがあります。ラジオと敷毛布本体やコントローラーの距離を50cm以上離してください。

低温やけどについてのご注意

- 一般にやけどといえば火・熱湯・油などの高温のものが、皮ふにふれておこるものですが比較的低い温度（40℃～60℃）のものでも長時間皮ふの同じ個所にふれていると（状態や個人差によっても異なりますが）「低温やけど」をおこすことがあります。
- 一般のやけどは、皮ふの表層のみですが"低温やけど"は、皮ふの深部におよび赤くはれたり、水ぶくれができるのが特徴です。
- 万一赤くはれたり、水ぶくれができたり、やけどをした場合には直ちに専門医の診断を受けてください。
- 次のようなかたが使用するときは、周囲のかたがあらかじめ低めの温度に調節したり、使用状態に異常がないか常に注意してください。
  - ＊疲労の激しいときや、酒、睡眠薬、ねむ気を誘うかぜ薬を使用されたとき。
  - ＊乳幼児、お年寄り、ご病人、からだの不自由なかたやご自分で意思表示のできないかた。
  - ＊皮ふ感覚の弱っているかた。
- 健康なかたでも高めの温度で長時間ふれていると「低温やけど」をおこすことがありますので低めの温度にするなどして、使用温度に注意してください。

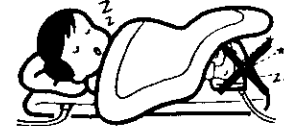
安全のため必ずお守りください

乳幼児の単独使用は絶対におやめください。

脱水症状や低温やけどをおこす恐れがあり危険です。

つぎのようなかたは医師に相談のうえお使いください。

- 心臓病などでからだを暖めることが健康上好ましくないかた。
- 皮ふが弱いかた。

他の暖房器具との併用はしないでください。

湯たんぽ、あんか、こたつ、電気毛布などと併用しますと、敷毛布本体の一部だけ温度が高くなり故障や、やけどの原因となります。

外出されるときや、ご使用にならないときは

火災防止のため必ず差込プラグを抜いてください。

使用上のご注意とお願い

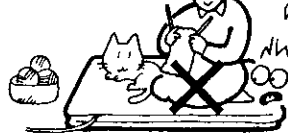
丸めたり、からだに巻きつけて使わないでください。

※敷毛布本体の一部が高温となり、故障や低温やけどの原因となります。

発熱体をいためないでください。

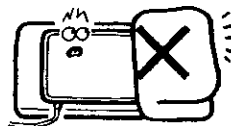
※発熱体にピンや針を突きさしたり、アイロンをかけたり、硬くて重いものをのせますと故障や事故の原因となります。

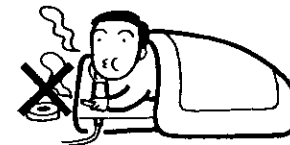
他の用途に使わないでください。

※たたんで座布団、足温器ひざかけやペットの暖房など。

コードはていねいに扱ってください。

※いたんだまま使いますと事故の原因となります。

かけ布団や普通の毛布などを部分的にかけないでください。

※発熱体をいためたり、事故の原因となります。

寝たばこはおやめください。

※火災の原因となります。

船舶、自動車の直流電源や200V電源での使用は絶対におやめください。

※火災の原因となります。

敷毛布本体の洗たく

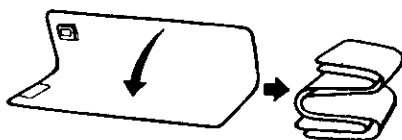
この敷毛布本体は一般の電気敷毛布と異なり、ヒーターが入ったまま手洗い(押し洗い)ができます。

使用中汚れたときや、次のシーズンまでおしまいになる場合に汚れが目立つときは、次の洗たくの手順や注意事項を必ず守って洗たくしてください。

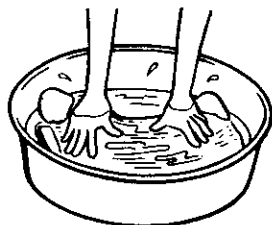
洗たくの手順

手洗いの場合

1 準備をします

- 敷毛布本体からコントローラーをはずします。
- たらい、または浴槽に30℃以下の水を入れ、洗たく用の中性洗剤をよくとかします。
  (入浴剤の入ったお湯は使用しないでください。)
- 敷毛布本体の短い方を接続プラグ部を内側にして2つ折りにし、さらに長い方を4つ折りにたたみます。

2 洗います

- 敷毛布本体を入れ押し洗いをします。

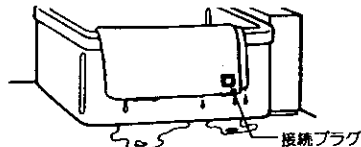
敷毛布本体を両手で、たらいや浴槽の底に押しつけたり、持ちあげることをくり返します。

- 汚れがひどい場合は、もう一度洗剤液をつくり直して2度洗いをします。

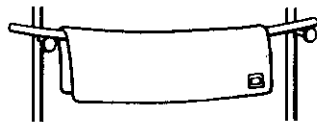
3 すすぎます

- 洗うときと同じ要領で洗剤が残らないように充分すすいでください。
- 静電気防止用に柔軟仕上剤を使用してください。
- 接続プラグの内部のみ再度、清水で充分すすいでください。

4 脱水をします

- さお、または浴槽のふちなどにかけて水をきってください。

※接続プラグの開口部を必ず下にしてください。

5 乾燥させます

- 日当りのよい場所で、さおに干すなどして、充分に自然乾燥してください。

6 確認します

- 充分に乾燥してから敷毛布本体を広げ、光にすかしてヒーターのよじれがないか確認してください。

(7ページの「安全にお使いいただくための点検」を参照してください。)

毛布洗いが可能な洗たく機を使用して、毛布洗いネットに必ず入れてください。

洗たく機を使用の場合

★使用される洗たく機および毛布洗いネットの取扱説明書を前もってお読みください。

1 準備をします

- 敷毛布本体からコントローラーをはずします。
- 洗たく機に30℃以下の水を入れ、洗たく用の中性洗剤をよくとかします。

2 洗います

- 敷毛布を毛布洗いネットに入れます。

※敷毛布の接続プラグが、敷毛布本体の内側になるようにしてネットにおさめてください。

- ファスナーまたは、ひもを確実にしめてください。
- 敷毛布が水といっしょに回るように水位を調節してください。
- 他の洗たくものと一緒に洗ったり、ネットを使わずに洗うことは絶対におやめください。
- 洗たく時間は12分以内にしてください。

3 すすぎます

- 洗剤が残らないように充分すすいでください。
- 静電気防止用に柔軟仕上剤を使用してください。
- 接続プラグの内部のみ再度、清水で充分すすいでください。

4 脱水をします

- 充分水をきってください。

※脱水機を使用する場合は、30～60秒程度おこなってください。

5 乾燥・確認します

- 手洗いと同様に乾燥・確認をおこなってください。

次のことは絶対におやめください

★ヒーターをいためたり、温度調節機能が正常に働かなくなります。

■ドライクリーニング

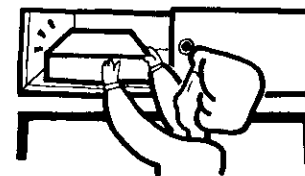
■漂白剤の使用
■アイロンがけ
■ねじりしぼり
■強制乾燥
(乾燥機の使用や、敷毛布本体に通電しながらの乾燥)
■道具を使用する手洗い(洗たく板などの使用)
■毛布洗いネットなしの洗たく機の使用

コントローラーとコードのお手入れ

汚れたときは、台所用中性洗剤をうすめ、布につけてふきとってください。

※シンナー・ベンジンなどの使用はおやめください。

次のシーズンまでおしまいになるとき

敷毛布本体をよく乾燥させ、お手持ちの箱などに入れて、湿気の少ない場所に保管してください。

防虫剤はコントローラーなどのプラスチック部分をいためますので使用しないでください。

(敷毛布本体は化繊を使用していますので防虫の必要はありません。)